

## ウクライナ戦争。毎日情報更新。午前10時 2022年3月9日

外交政策: 日本は北方領土問題を外交議題に組み込んだ。北方領土は第二次世界大戦の終結以降ロシアの一部となっている。現在のロシアによるウクライナ侵略に照らし、この問題が再度浮上している。日本の岸田文雄首相は、北方領土問題が未解決であることを強調している。

[ヴァルデイス・ドンブロウスキ](#) 欧州委員会上級副委員長は、ロシアがウクライナにて制止されない場合、ロシアの軍事的野心がリトアニア、ラトヴィア、エストニアのバルト三国にも拡大する可能性があるかと警告している。

3月10日から11日にかけて、EU(欧州連合)はパリにおいて[EU非公式首脳会議](#)を行う。会議ではEUの防衛能力、ロシアの燃料輸出へのエネルギー依存の削減、ロシアのウクライナに対する戦争に照らした、より強固な経済の構築に関するさらなる議論に焦点が当てられる。しかし一部のウクライナの議員は、議題には明記されていないものの、加盟国がウクライナのEU加盟に関する合意に達することを望んでいる。シンクタンク、ヨーロッパ・ノヴァ(*Europa Nova*)は、ウクライナがEU加盟候補国の地位にふさわしいことを説明する[略解](#)を作成した。

国際社会: [ドイツ](#)は、ウクライナにおけるロシアの戦争犯罪の調査を開始することを発表した。シュピーゲル誌(*Der Spiegel*)によると、ドイツのペーター・フランク検事総長は、ロシアによるクラスター弾の使用、住宅建築物・ガス管・放射性廃棄物処分場への攻撃の調査を開始した。[スペイン](#)もまた、「ロシアのウクライナにおける国際人道法の重大な違反」の可能性に関する調査の開始を決定している。

人道回廊: 高齢者、子ども、女性がマリウポリ市(ドネツク州)からロシア軍の砲撃のため、退避することができなかった。市内の情勢が悪化しつつある。ロシア軍が人道回廊を砲撃し続けているから、市民は人質になってしまっている。砲撃の中止がなく、生命に必要な水や食料品へアクセスもほとんどないことから、6歳の女の子が脱水症で死亡した。人道援助商品を運んでいたトラック一団がBM-21グラードから砲撃を受けた。マリウポリ市に残っている家族がいる人からの[メッセージ](#)をご覧ください。ムコライヴ州では孤児院施設の先生のグループがシフト型の出勤の最中にロシア軍による砲撃を受けた。少なくとも3人の先生が殺された。2人の先生が傷つけられた。3000人以上がイリピン市(キーウ州)から避難した。外国人留学生を含めて5000人以上がスミ州から退避ができ、本日中に退避が続く予定。今朝、ブチャ市、ヴォルゼル市、ホストメル市、エネルホダル市、イルピン市、ボロヂャンカ市、マリウポリ市、イジウム市、ヴォルノヴァ市から始まる予定があった。